



## 伊藤 登 Noboru Ito

株式会社 プランニングネットワーク 代表取締役  
博士（工学） 技術士（建設部門）

URL : <http://www.pn-planet.co.jp/>

Email : [itoh@n-planet.co.jp](mailto:itoh@n-planet.co.jp)

〒114-0012 東京都北区田端新町3-14-6

TEL: 03-3810-9381 FAX: 03-3810-9384

### ■主な経歴

1959(昭和34)年 生まれ  
1982(昭和57)年 千葉大学園芸学部卒業  
1984(昭和59)年 東京工業大学大学院 修士  
1984(昭和59)年 清水建設株式会社入社  
株式会社ポリテックコンサルタンツ  
株式会社プランニングネットワーク  
設立 代表取締役就任

### ■所属等

都市環境デザイン会議正会員 【事業委員】  
土木学会正会員  
【土木学会論文集D1分冊編集小委員会委員長】

### ■活動のビジョン

私は、日常人々が使用する空間の快適性とそれらが作り出す風景の美しさを重視した計画設計活動を主としてきた。それらの成果が洪水時対応の施設設計を求められる河川空間の設計である。一方、国土の風景認識は道路を移動する際に多くなされることから、道路施設、とりわけ連続的に設置される防護柵の標準品の質的改良に携わってきた。防護柵は小さな施設であるものの、大量に設置されるが故に、風景に大きな影響を与えるものである。特定の場所もさることながら、標準品の質的向上を図っていくことが私にとっての重要な活動テーマである。

### ■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

少子高齢化に伴う人口減少の時代を迎える。人口が8000万人ならば昭和20年当時、5000万人ならば大正時代の人口規模となる。これらの時代は現代と比べて確かに貧しかったものの、都市は活気に溢れ、美しい風景も多く残されていた。美しく活気に満ちた都市や農村をどのように再構築できるかが、今日的課題と認識している。その一方で、やむを得ず集落維持が困難となる地域においては、先人たちの足跡を記録に留める活動が必須である。

### ■自身が関わった活動・作品・現場の概要

1 阿武隈川支川荒川緩傾斜堤防計画、設計  
1995年（建設省）

2 阿武隈川渡利水辺の楽校計画、設計  
1996年（建設省）  
2004年 土木学会デザイン賞 優秀賞

3 磐井川緩傾斜堤防計画、設計  
2002年（国土交通省）

4 アルミニウム合金製橋梁用車両防護柵設計  
2004年（日本アルミニウム協会）  
2010年 土木学会デザイン賞 奨励賞



1 阿武隈川支川荒川緩傾斜堤防計画、設計



2 阿武隈川渡利水辺の楽校計画、設計



3 磐井川緩傾斜堤防計画、設計



4 アルミニウム合金製橋梁用車両防護柵設計

### ■おすすめ景観

奥州街道・羽州街道追分  
(福島県桑折町)

奥州街道・羽州街道追分は、民家が建つ普通の交差点であった。地元有志が勉強会を重ね、その姿を明らかにした。これを受けて県と町が協力して追分の復元工事に着手し、民家の立ち退きも含めた整備を実施した。地域の方々と熱意と行政の協力が、古の街道の姿を現代に蘇らせた。この場所を推す理由は、まちづくりの原点を感じさせるからである。

